

自分らしい思いを持って表現できる造形活動

～未来の建物を立体に表す活動を通して～

1 設定理由

幼い我が子を観察していると、線や形をかいてその形を意味付けたり、身近な材料を積むことから組み立て方を工夫したりするなどの活動を絶え間なく行っている。そこでは、見たり感じたりする力、次にどのような形にするかを考える力などが働いていると感じるときがある。何より、夢中になって、作りだす喜びを味わっている。

そこで、児童が本来持つ自分らしい思い、自分らしい表現を引き出すために、本題材では導入時から素材に直接触れ、イメージを形にするための材料を自分で選択させたい。また、素材と用具を限定することで創造的な技能を引き出すことができるのではないかと考える。自分らしさの詰まった作品を友だちと協力したり、認め合ったりしながら一つのまちにすることで、作りだす喜びをより一層味わうことができると思い、本主題を設定した。

2 研究仮説

- (1) 様々な大きさのダンボールを用意し、それらの素材に触れながら、自分の思いを込めた未来の建物の設計図を描かせることで、発想が広がり、自分らしい思いを持って表現することができるだろう。
- (2) 素材と用具を限定し、様々な組み合わせ方を発見し、工夫することで、「創造的な技能」を引き出すことができるだろう。

3 研究内容

授業研究を通して仮説を検証する。

- (1) 児童に表したいことを明確に持たせるための導入の工夫
- (2) 工夫したダンボールの組み合わせ方を伝え合う場の設定

4 結論

○導入時、実際に触りながら素材に触れ合うことで、明確に作りたいイメージを児童に持たせることができた。さらに、材料に組み立てていくための印をつけたり、設計図に色をつけたることで、児童の表現が広がった。

○児童が発見した組み合わせ方を友だちに紹介することで、表現を広げることができた。

I 研究の概要

1 研究主題

自分らしい思いを持って表現できる造形活動
～未来の建物を立体に表す活動を通して～

2 主題設定の理由

幼い我が子を観察していると、公園の地面や身近にある紙などに線や形をかいてその形を意味付けたり、身近な材料を積むことから組み立て方を工夫したりするなどの活動を絶え間なく行っている。そこでは、見たり感じたりする力、次にどのような形にするかを考える力、それを実現するために用具や表現方法を工夫する力などが働いていると感じるときがある。何より、夢中になって、作り出す喜びを味わっている。それは、本学級の児童にも本来備わっている資質や能力である。それらを授業で一層伸ばしていく必要がある。

そこで、児童が本来持つ自分らしい思い、自分らしい表現を引き出すために、ダンボールを使うことに決めた。ダンボールという素材は、手に入りやすく、切ったり、折ったりと形を変形させやすい。また、大きさも様々で、「積む」、「並べる」、「切りこみを入れる」、「ボンドではる」など様々な表現方法を見つけ、組み合わせることができるため、ダイナミックに自分の思いのままに表現することができると思った。今までキットなどを活用して表現活動に取り組むことが多かった為、本題材では導入時から素材に直接触れ、様々な形や大きさのダンボールの中から、イメージを形にするための材料を自分で選択させたい。また、接着方法もあえてボンドに限定することで創造的な技能を引き出すことができるのではないかと考える。自分らしさの詰まった作品を友だちと協力したり、認めあったりしながら一つの町にすることで作り出す喜びをより一層味わうことができると思い、本主題を設定した。

3 研究目標

自分らしい思いを持って表現できる造形活動のあり方を明らかにする。

4 研究仮説

(1)仮説1 様々な大きさのダンボールを用意し、それらの素材に触れながら、自分の思いを込めた未来の建物の設計図を描かせることで、発想が広がり、自分らしい思いを持って表現することができるだろう。

(2)仮説2 素材と用具を限定し、様々な組み合わせ方を発見し、工夫することで、「創造的な技能」を引き出すことができるだろう。

5 研究内容・方法

代表者の授業実践及び図工部会全員のグループによる授業のまとめを通して、仮説を検証する。

(1)仮説1 児童に表したいことを明確に持たせるための導入の工夫

(2)仮説2 工夫したダンボールの組み合わせ方を伝え合う場の設定

II 授業実践（第4学年）

1 検証授業の計画と実際

(1) 題材名 「未来の菊間へようこそ」

(2) 題材について

①本題材に関わる内容について、学習指導要領では次のように示されている。

1 目標

(1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。

(2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。

A 表現

(2) 感じたこと、想像したこと、見たことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。

ア 感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けて表すこと。

イ 表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料などを生かし、計画を立てるなどして表すこと。

ウ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表し方を考えて表すこと。

B 鑑賞

(1) 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。

ア 自分たちの作品や身近な美術作品や制作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じ取ること。

[共通事項]

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。

文部科学省（2008年）. 小学校学習指導要領解説 図画工作編 日本文教出版

②題材観

本題材は、児童が住む地域の未来を想像し、一人ひとりが考えた建物を、身近な材料であるダンボールを使って一つの立体に表す活動である。ダンボールという素材は、手に入りやすく、色や大きさもさまざまであり、切ったり、折ったりと形を変化させやすい素材である。また、波形の紙を真ん中に挟んでいるため、水に濡らすとカーブを描くように曲げられたり、丸めたりすることができる。これらの特性を生かした上で、はめたり、積んだりしていくことで、今までに創造したことのない複雑な立体や、大きな作品を創り出すことができると考えられる。

題材名に「未来」と入れたのは、児童に「未来の建物」を創造する楽しさを味わわせたいからである。本校は、40棟以上の県営住宅に囲まれた中に立地しており、一戸建ての家や大きな家に憧れを抱く児童が多い。その憧れを形にして、自分たちが憧れる「未来のまち」を創造することで、将来、児童が郷土を愛する心や、社会と主体的にかかわる態度を育てることにもつながると考えた。

(3) 児童の実態 (男子10人 女子13人 計23人)

質問項目 / 回答		○得意な理由 ●苦手な理由 / ・記述
(1) 図工は好きか。 好き…19人 嫌い…1人 無回答…3人		
(2) 図工の中で、どっちが苦手か。(複数回答も含む)		
絵画	得意…8人	○家でいつもたくさん絵を描くから。 ○絵を描くのが好きで、絵を描いていたら「上手だね」と言ってくれたから。 ○絵を描くのが好きだから。 ○素早くできるから。楽。 ○絵は自分を笑顔にしてくれる。 ○漫画家になるために絵を練習している。
	苦手…6人	●絵が上手に描けないから。(5人) ●絵を描くのが難しいから。(3人) ●顔がきれいに描けないから。(2人)
工作	得意…11人	○貼ったり、重ねたりするのが好きだから。 ○楽しい。 ○いろいろな作品を組み立てたりするから。 ○工作は、いろいろな物が作れるから。(3人) ○家でよく作っているから。 ○かわいく工夫して作れるから。
	苦手…3人	●図をかくのは嫌いだけど、組み立てるのは好き。 ●時間がかかってイライラする。 ●何をつくりたいのか、想像ができない。
どちらとも言えない…6人		○いつも絵を描いているし、工作はもっと好きだから。 ○絵を描いたり、工作をしたりするのが好きだから。
(3) ダンボールで何か作った経験があるか。 ある…14人		・貯金箱、船、犬、家、飛行機のコックピット、イス、テーブル、秘密基地、自動販売機、タイヤのついたワニ
ない…9人 経験がない人は、どんな物を作りたいか。		・大きな家、乗り物、貯金箱、建物、動物
(4) <u>自分より大きな物</u> を作ったことがあるか。 ある…2人		・ダンボールの家
ない…21人 作ったことがない人は、どんな物を作りたいか。		・家、大きな建物、ビル、ホテル、ロボット、ロケット、ドラゴン、キリン

<p>(5) 「未来の菊間」と聞いたら、そこには何があると想像するか。</p>	<p>・レストラン、家、店、住宅街の中に花畑、城、丸い車、カラオケショップ、空港、たくさんのロボット、さくらんぼの木とまち、大きな学校、マンション、大きくてきれいな菊間小学校</p>
<p>(6) 「まちに建物を作っているよ」と言われたら、何を作るか。</p>	<p>・レストラン、家、店、ケーキ屋、ホテル、空港、大きな木の家、ビル、大きいビル、大きな学校</p>

①考察

質問項目 (1) ほとんどの児童は、図画工作科が好きであることがわかる。

質問項目 (2) 工作を得意と感じている児童は、つくりだす喜びを感じていることがわかるが、苦手な子は、計画を立てることが苦手だったり、つくりたいものを想像したりするのが難しいといったことがわかる。

質問項目 (3) 約半数の児童がダンボールで工作をした経験がある。

質問項目 (4) ほとんどの児童が自分より大きなものをつくった経験がないといったことがわかる。

質問項目 (5) 団地に住む児童が約半数を占めるが、団地と書いた児童が一人もいなかった。

質問項目 (6) 空港やケーキ屋など現在はないものがかかかれている。

②指導観

児童の実態から、本題材では「未来の菊間にある建物をつくろう」と聞いて、想像したことから、表したいことを見つけて、好きな形や色を選んだり表したりしながら、自分らしく表現することができるように、以下の3点を留意して指導を行っていく。

1つめは、児童が「建物」のイメージを明確に持たせるために、箱状になっているダンボールをたくさん用意し、直接触りながら作りたいものを設計図に表現していく。

2つめは、建物をつくる際、児童からダンボールの組み合わせ方の工夫を引き出すために、接着剤を木工用ボンドだけに限定する。また、出てきた組み合わせ方の工夫をみんなが活用できるように、紹介後、黒板に言葉カードと具体物資料を用意する。

3つめは、自分の作品や友だちの作品のよさ、面白さ、感じたことなどを記録するために、デジタルカメラを活用する。撮った写真をワークシートにまとめ、蓄積することで学びの変容もとらえることができるからである。また、保護者面談を利用し、保護者から作品に対する感想をもらうことで、次回の学習の意欲づけにつなげていきたい。

(4) 題材の目標

・未来のまちにある建物を想像して、形に表すことに取り組むことができる。

【関心・意欲・態度】

・未来のまちにある建物を想像して、建物などの形や色を考えることができる。

【発想や構成の能力】

- ・段ボールの組み合わせ方や色の使い方を工夫することができる。

【創造的な技能】

- ・まちの中を探検しながら、建物などのよさに気付いたり、面白さを感じたりすることができる。

【鑑賞の能力】

(5) 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構成の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
未来のまちにある建物を想像して、形に表すことに取り組もうとしている。	未来のまちにある建物を想像して、建物などの形や色を考えている。	段ボールの組み合わせ方や色の使い方を工夫している。	まちの中を探検しながら、建物などのよさに気付いたり、面白さを感じたりしている。

(6) 指導計画と評価の計画 (全6時間)

時	学習内容と活動	評価規準【観点】(評価方法)
1	・未来のまちにどんな建物があったらいいかを考える。	・未来のまちにある建物を想像して、形に表すことに取り組もうとしている。 【造形への関心・意欲・態度】 (ワークシート)
2 本 時	・段ボールの組み合わせ方を発見しながら、建物をつくる。	・段ボールの組み合わせ方を工夫している。【創造的な技能】(観察・作品)
3	・自分のつくりたい建物を想像しながら、形に表す。	・未来のまちにある建物を想像して、建物などの形や色を考えている。 【発想や構成の能力】(観察・作品)
4	・想像した建物に近づくように色をつける。	・色の使い方を工夫している。 【創造的な技能】(観察・作品)
5	・友だちと協力して、未来のまちをつくる。	・未来のまちを想像して、形に表すことに取り組もうとしている。 【造形への関心・意欲・態度】(観察)
6	・まちの中を探検しながら、建物などのよさや面白さを見つけることができる。	・まちの中を探検しながら、建物などのよさに気付いたり、面白さを感じたりしている。【鑑賞】(発表・ワークシート)

(7) 本時の指導 (2/6)

①本時の目標と評価規準






〔本時の目標〕ダンボールの組み合わせ方を工夫することができる。

〔評価規準〕 段ボールの組み合わせ方を工夫している。【創造的な技能】(観察・作品)

②準備物【教員】：ダンボールカッター 木工用ボンド 刷毛 作業台

【児童】：ダンボール

(8) 検証授業の実際

過程	学習内容と活動	学習形態	教員の支援 (○) と評価 (●)
つかむ (5)	1 本時のめあてをつかむ。	一斉	○本時のめあてを明確にするために、学習計画表を提示する。
	<div data-bbox="360 394 1283 456" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダンボールの組み合わせ方を工夫しながら、建物をつくろう。</div> <p data-bbox="300 483 746 761">2 ダンボールの組み合わせ方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切りこみ ・ボンドではる ・積む ・並べる 	一斉	<p>○視覚的に確認させるために、カードと実物を提示する。</p> 
つくる (33)	<p>3 ダンボールの組み合わせ方を工夫しながら、作品を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つなぐ ・はめる ・くさび 	個人	<p>○自分の表したいことが表せるように、友だちの活動を参考にしたり、試したりしながら進めていくことを伝える。</p> <p>○困っている児童がいたら、声かけをする。</p> <p>○児童の意欲を高めるために、工夫しているところをみんなに紹介する。</p>
	 <p>ここに何を組み合わせようかな。</p>  <p>ダンボールのリングでつなげたよ。</p>		 <p>●ダンボールの組み合わせ方を工夫している。【創造的な技能】(観察・作品)</p>
ふりかえる (7)	<p>4 本時の活動を振り返る。</p>  <p>丸くして穴を開けてさしたよ。</p> <p>5 片づけをする。</p>	一斉	<p>○次時の活動につなげるために、工夫できたところや想像していたことがよく表せたところを発表させる。</p> <p>○片づけを円滑にするために、掃除用具を人数分準備し、役割分担しておく。</p>

(9) 抽出児の変容

①児童A

- ・明朗快活で、感情を表に出すことが多い。「できると思う」「それいいな。やってみよう」と興味関心を持って一生懸命に取り組むことが多い。
- ・図画工作は、とても好きで、設計通りに進めようとする。

変容

- ・題材「クミクミミックス」では、「切りこみ」、「はめる」を使用しているが、建物作りが始まると、「積む」、「並べる」の組み合わせ方を使用することが多かった。
- ・友だちの組み合わせ方の工夫、「つなぐ」、「くさび」を知ると、「やってみよう。」と目を輝かせ、設計図とは違う方向に発想を膨らませることができた。

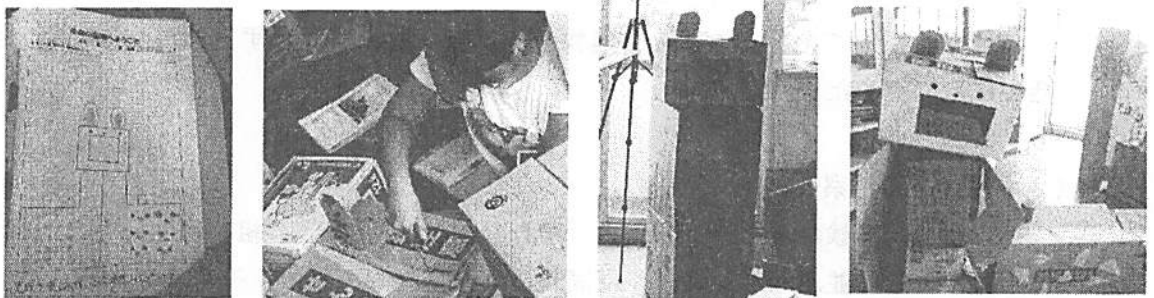


②児童B

- ・友だちに優しく、とても穏やかな性格をしている。心の中には「こうしたいな」という思いを持ち、芯の強さを感じる。
- ・図画工作は、とても好きで、設計通りに進めようとする。

変容

- ・設計図にもとづいて、うさぎの顔を作る中で、うさぎの耳の立て方を試行錯誤しながら工夫した。
- ・友だちの組み合わせ方の工夫から、「つなぐ」、「くさび」の技法のよさに気づき、進んで自分の作品に取り入れた。



③児童C

- ・明朗快活であるが、図工の活動には、あまり自信がない。
- ・授業中、手が止まってしまい、「先生…」と声をかけてくることが多い。
- ・やっていくうちに別のイメージが浮かんでくることが多い。

変容

- ・設計図を丁寧に作成したことで、作業の始めから「切りこみ」、「さしこみ」などの組み合わせ方を使って表現することができた。
- ・イメージするお店が完成したことで、自分の思いを表現することに抵抗感が減った。



図1 仮説1の物、出の始りから行っている。



Ⅲ 仮説の考察

(1) 仮説1の考察

本題材の学習に入る1ヶ月前から子どもたちに「今度の学習で、建物を作ります。自分が使いたいダンボールをたくさん集めてきてね。」と呼びかけたことで、様々なダンボールの種類や量を豊富に用意することができた。また、題材の導入時に、「三鷹天命反転住宅 ヘレンケラーのために」や「世界の不思議な建物」をインターネットで検索し、画像を児童に提示した。実際に素材に触れながら、自分なりの未来の建物を想像させることで、自分らしい思いを持って表現することができたと考える。それは、設計書のワークシートを児童に渡した際、ほとんどの子がダンボールを自由に動かしながら、勢いよく設計図を完成することができたことからわかった。

また、立体的な建物を作るのに、普段、ダンボールは折りたたまれていて、平面になっていることが多い。これは、子どもからの感想であるが、「ダンボールを立体に組み立てておくことで、建物を想像しやすかった。折りたたまれている物では、考えるのが難しい」と言っていた。

これらの手立てをとることで、建物を作る際、児童が迷わず、自分なりの思いを持って、活動に取り組めたと考える。

(2) 仮説2の考察

児童は、経験からダンボールを「積む」「並べる」などの組み合わせ方で、作り始めた。活動が進むと並んだダンボールに同時に切り込みを入れて、そこにダンボールを差し込む工夫をする児童が現れた。児童が簡単にしっかりと止められる組み合わせ方だと判断したからだと考える。他の児童もそのアイデアを活用する姿が見られた。

また、「つなぐ」「はめる」などの組み合わせ方の工夫も児童の中から出てきたので、それらの工夫をみんなに紹介する時間を設け、用意しておいた具体物を黒板に掲示し、誰もがそのアイデアを共有することで、ダンボールの組み合わせ方を工夫して、作品作りに取り組めたと感じる。

これらの手立てをとり、限られた材料の中で試行錯誤したり、共有したりすることで、「創造的な技能」を伸ばすことにつながったと考える。

IV 成果と今後の課題

(1) 成 果

- ①導入時、実際に触りながら素材に触れ合うことで、明確に作りたいイメージを児童に持たせることができた。さらに、材料に組み立てていくための印をつけたり、設計図に色をつけたりすることで、児童の表現が広がった。
- ②接着材を木工用ボンドに限定したことで、児童が「つなぐ」「はめる」「切り込む」「積む」などのダンボールの組み合わせ方に工夫が見られるようになった。
- ③前題材『クミクミミックス』で児童が発見した組み合わせ方の種類を、本時の導入で言葉と実物提示で確認することにより、児童の表現が多様になった。
- ④児童が発見した組み合わせ方を友だちに紹介することで、表現を広げることができた。
- ⑤材料部屋と作業部屋を分けたことで、児童が材料運びをしやすくなり、広い表現活動の場を確保することができた。
- ⑥教員が製作過程をデジタルカメラで撮り続けたものを、児童がワークシートにまとめる段階で活用したことにより、児童の学びの変容を、児童も教員もとらえることができた。また、鑑賞活動の際に、児童が友だちの作品から影響を受けた組み立て方をデジタルカメラで撮影し、それをワークシートにまとめることで、自分の表現の広がり気づくことができた。
- ⑦児童が友だちや保護者からの他者評価をもらうことで、自己表現の可能性と広がり気づき、製作活動の自信につなげることができた。

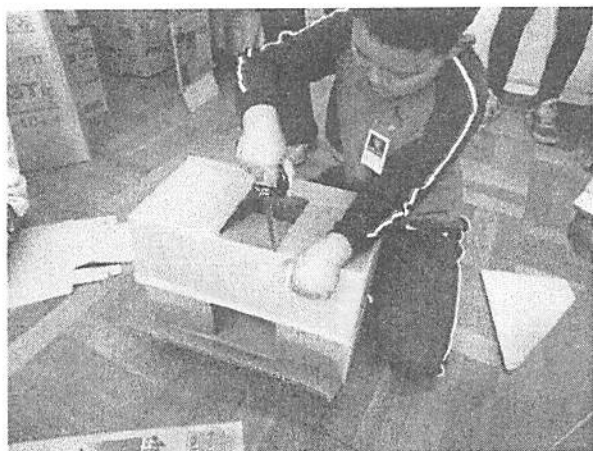
(2) 今後の課題

- ①「設計図」と考えるのではなく、「イメージ図」と考えて作っていくと、最初の考えに固執せず、発想を膨らませることができたのではないか。
- ②製作中に発見されたダンボールの組み合わせ方を紹介する際は、児童の活動を止めさせずに、全体に声を掛けてアイデアの一助として紹介した方が良かった。
- ③活動スペースに児童が自由に歩き回り、自由に友だちの工夫の良さを見に行けるスペースがあると良かった。
- ④手が止まった児童に対する支援は、児童が考えている途中かもしれないので、声掛けや支援のタイミングを考えたい。

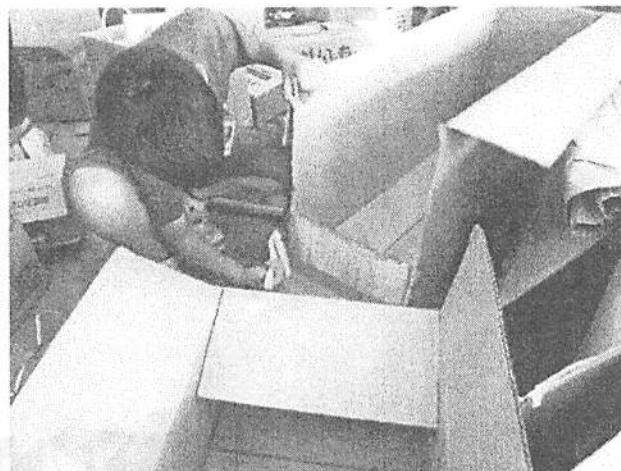
資料編

—資料1—

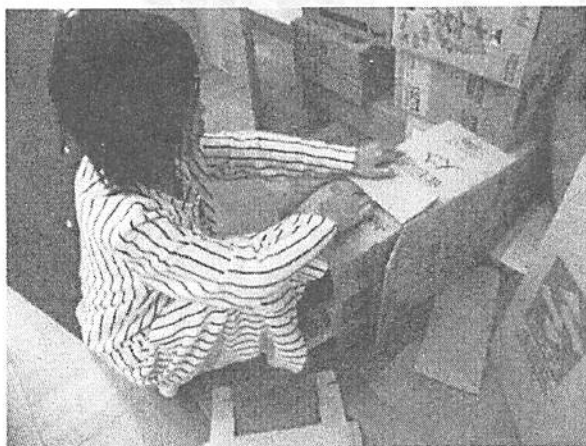
(1)「建物をつくる」



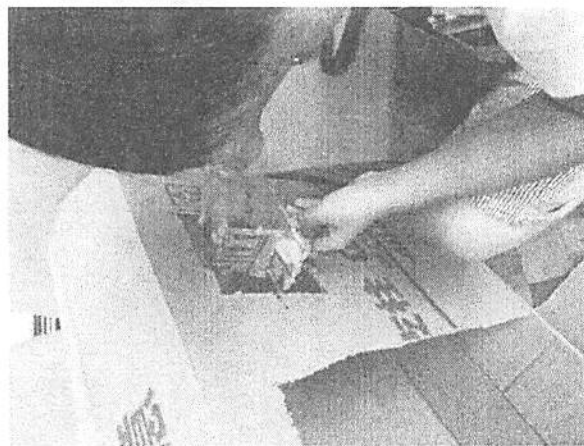
ダンボールカッターを安全に使う。



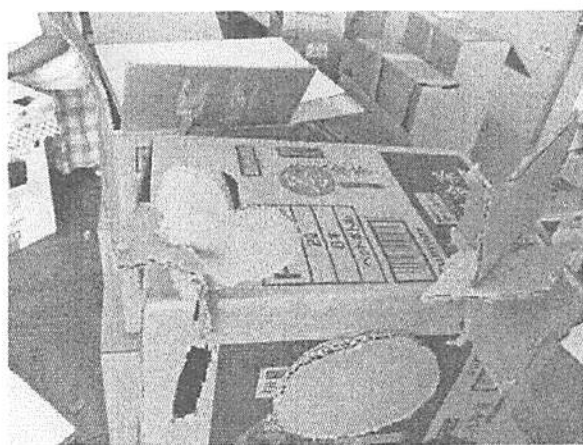
刷毛を使って、ボンドをつける。



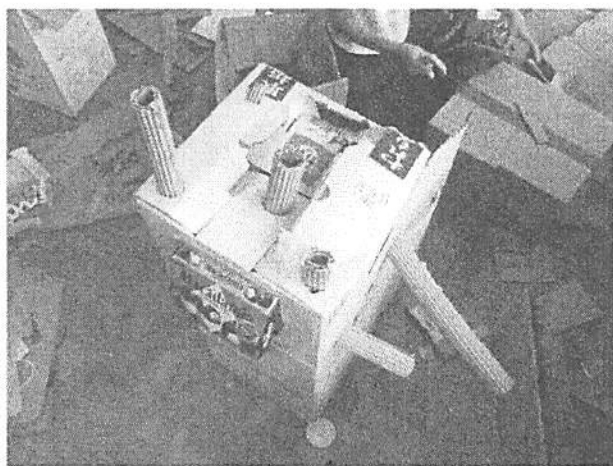
「どうやって組み合わせようかな。」



「“切り込み”を入れて、飾り窓にしよう。」



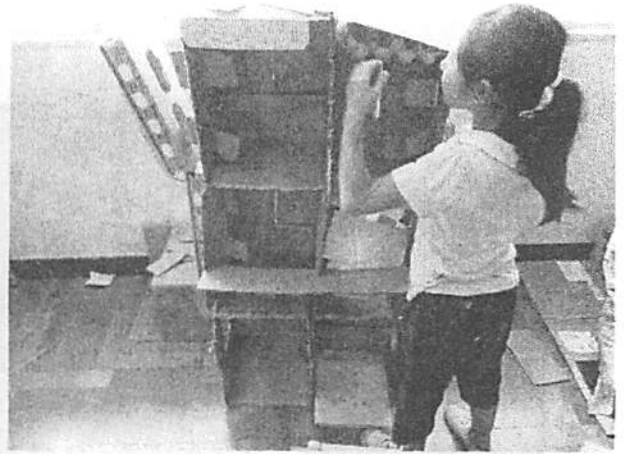
「“切り込み”で、飾りを作ったよ。」



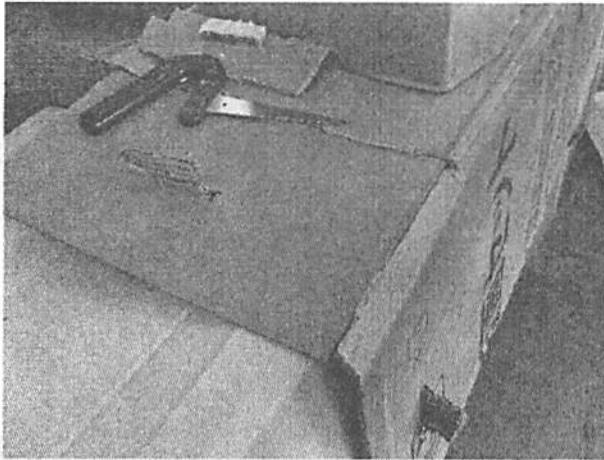
“差しこむ”



“つなげる”



積み重ねる”



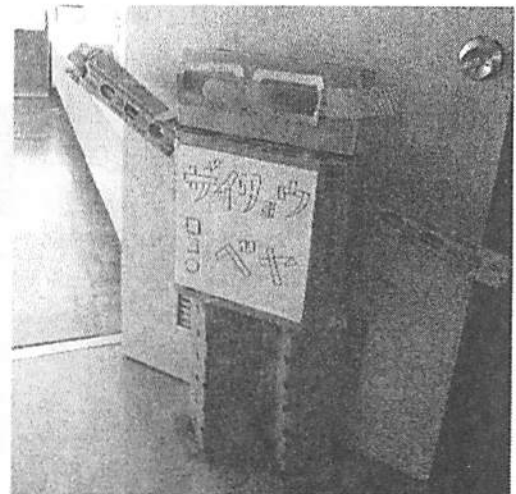
“差し込んでとめる”



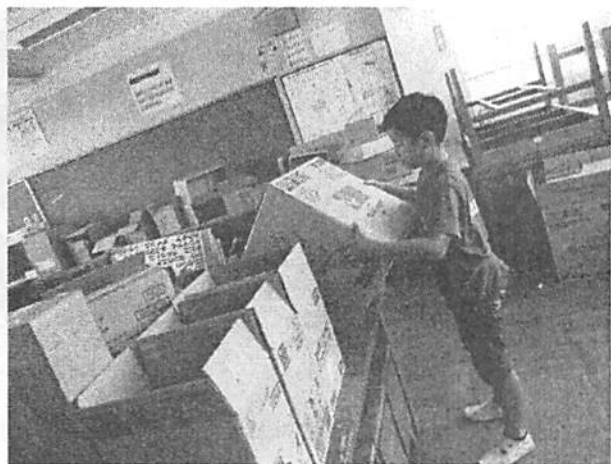
段ボールを“並べる”



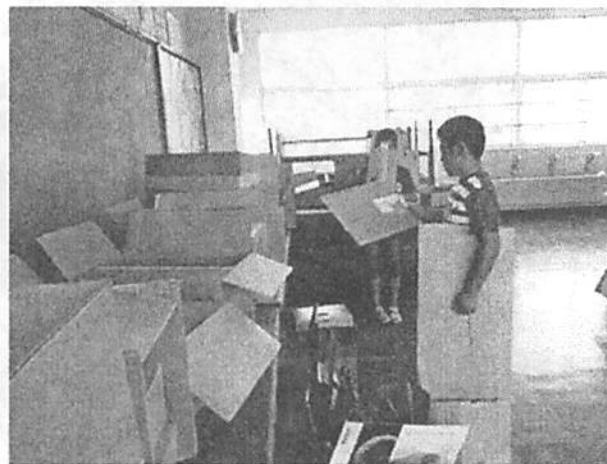
「完成したら中にも入れるよ。」



「材料部屋へようこそ」
by サクマロボ

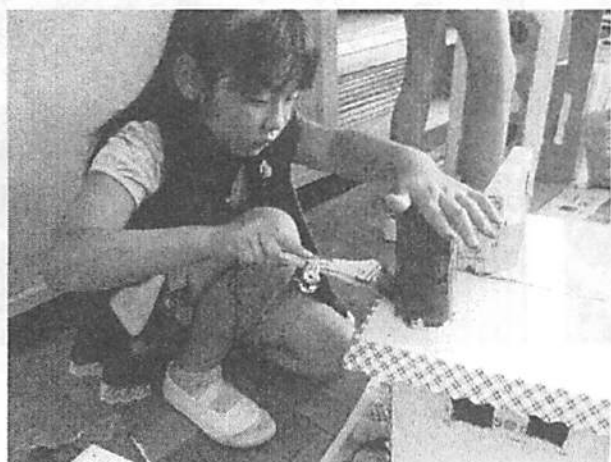


「このくらいの大きさかな。(悩み中…)」



「計画変更！どれがいいかな…」

(2) 建物に色をつける



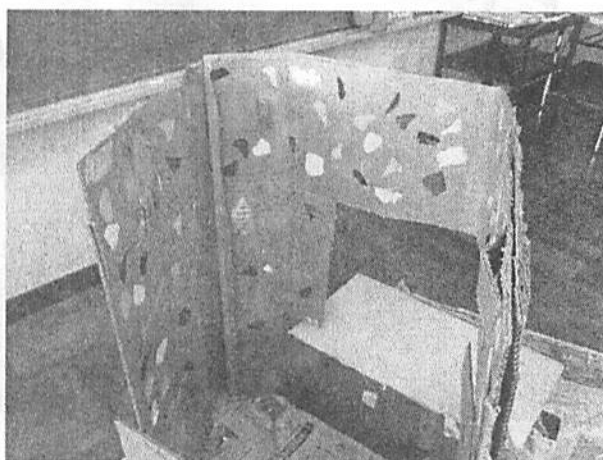
刷毛で丁寧に。



床に垂れないように。



「建物の中にも手形をつけるよ。」



模様をつけて。



ドリッピングを使って。



カレンダーも貼って。

(3) 建物を並べて、まちをつくる



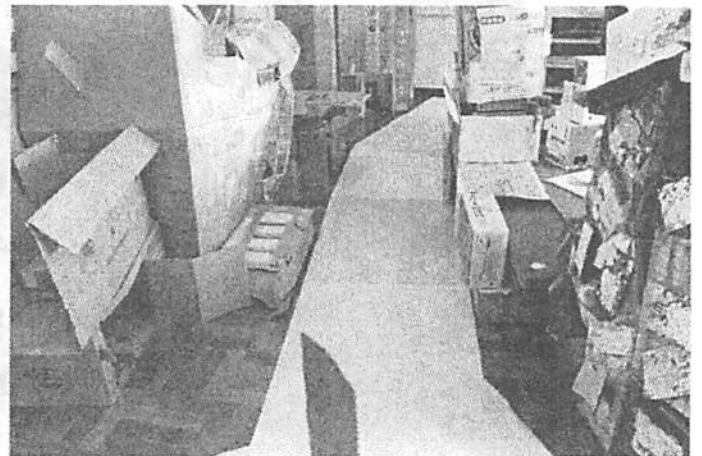
「ようこそ未来の菊間」が
いいんじゃない。」



「そこ引っ張っておいてよ。」



「しっかりとめてね。」



道が開通！

—資料5—

(4) まちが完成！



—資料6—

(5) まちをたんけん！ 友達のいいところを見つける。(鑑賞)



「俺は、ここがいいと思うな！」



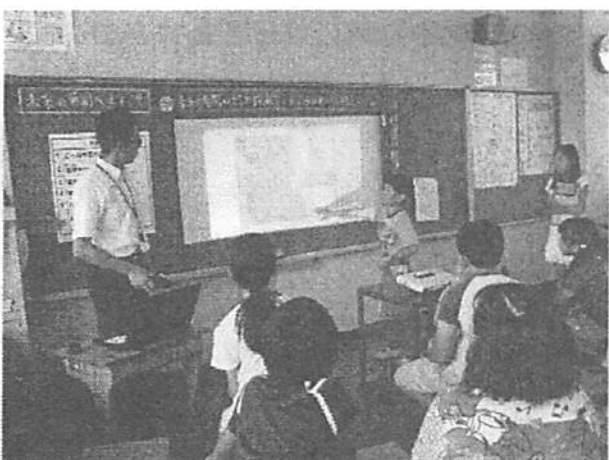
「この取っ手の部分…」



「僕は、取っ手の部分の工夫がすごいと思いました。どうやったのですか。」



「取っ手の部分は、“くさび”を使って、作りました。」



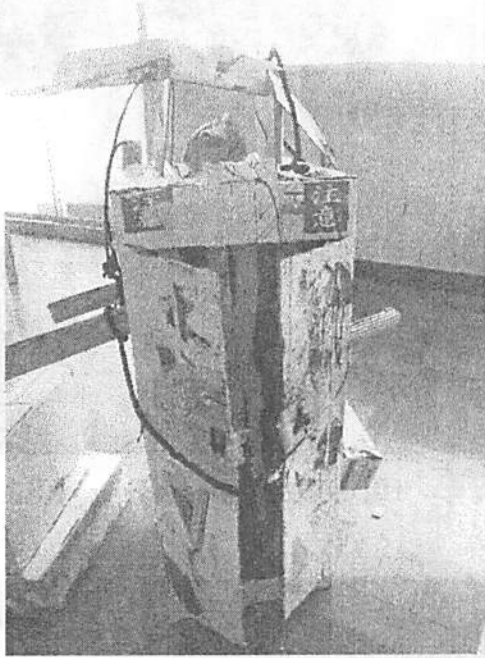
「見て！この模様がすごくて…」



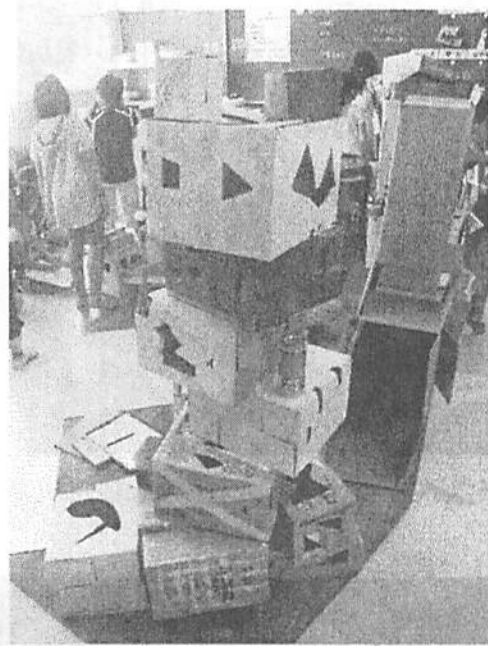
「僕の？ちょっと照れくさいな。」

—資料7—

(6) 児童の作品



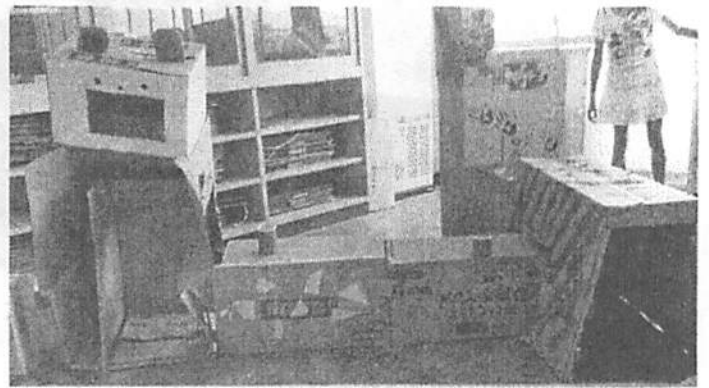
『きたない家』



『へんてこ マンション』



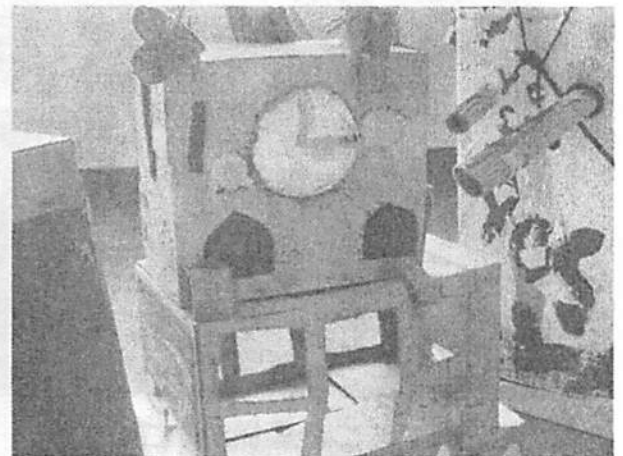
『カラフル家』



『大きな口のうさぎ&キノコの家』



『手跡がついている家』



『いろいろな色の学校』

—資料8—

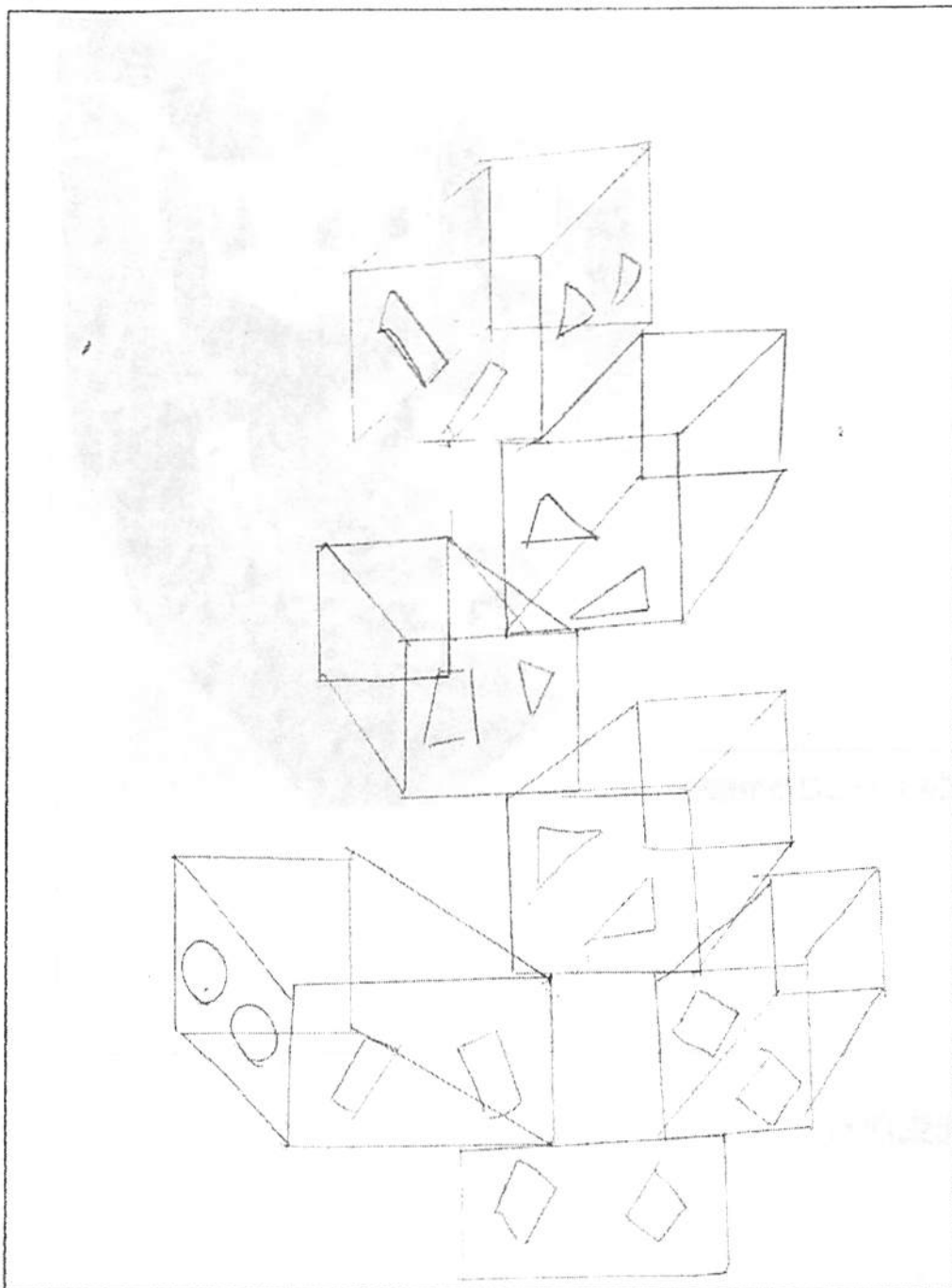
(7) 学習カード・保護者からの感想

未来の菊間へようこそ

①

4年 2組 () 番 名前

そらぞら たてももの せっけいず
想像した建物の設計図をかこう。



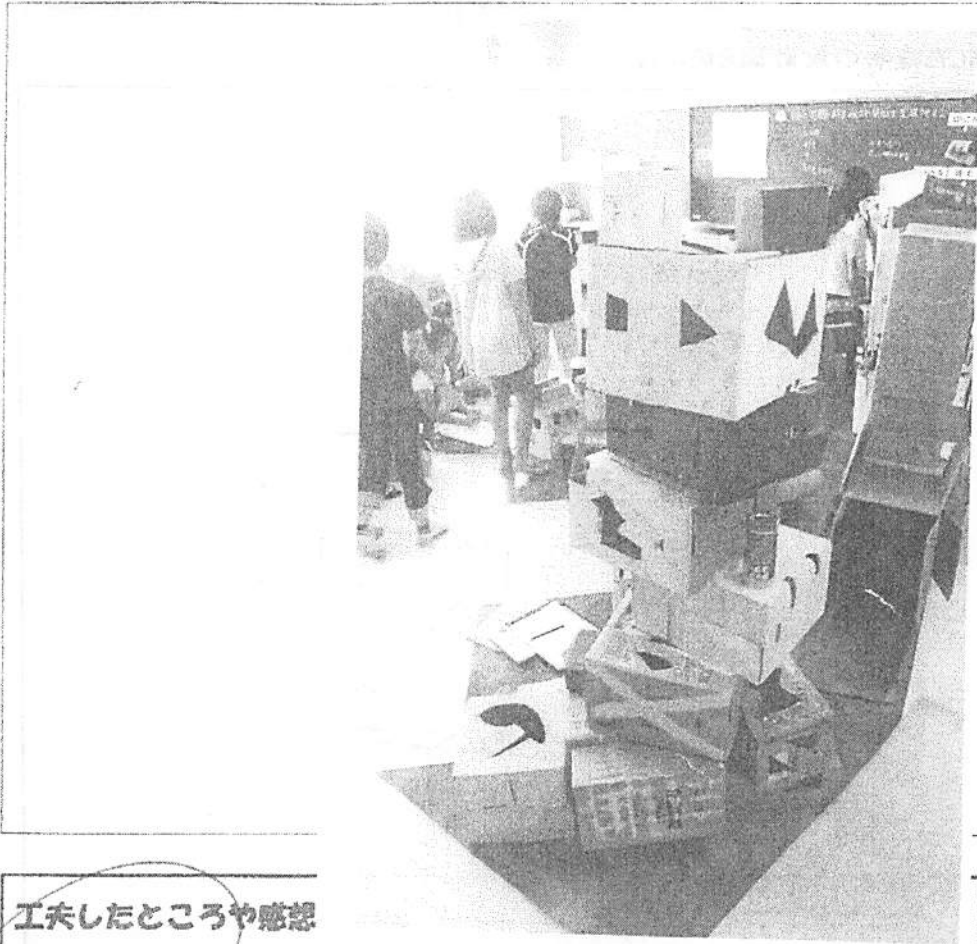
ダンボールの積み重ね方を工夫していますね。

AAA

未来の菊間へようこそ

③

4年 組 () 番 名 前



工夫したところや感想

工夫したところは、建物の自由な形をとり、ダンボールカーで動かす。四角の足で動く。

先生から

作っている時は、気がつきませんでした。
goodです。

保護者の方からの感想

素敵なマンションができましたね。
とても上手ですね。良く頑張りました。すげえ！